

しんにちは つるおか

No. 95

ふるさとを応援しています

わたなべ ひろし
渡部 洋 さん



首都圏鶴岡会会長。東京鶴翔同窓会顧問、庄内ふるさと会理事など、首都圏在住の鶴岡・庄内出身者で構成する様々なふるさと会で精力的に活動。江戸川区学童疎開70周年記念行事出席のため来鶴。鶴岡市出身。

私は、18歳のときに鶴岡を離れ、ずっと首都圏で生活してきました。様々なふるさと会に参加し、交友関係が広がっていくにつれて、私自身が鶴岡のことをもっと知りたいと思うようになりました。少しでも鶴岡の力になりたい、鶴岡を応援していきたいという気持ちが次第に強くなっていったのです。退職してからは、ふるさと会に更に多く参加する時間ができたため、毎月のように鶴岡を応援する活動が行えるようになりました。

首都圏鶴岡会は、平成9年に設立され17年目を迎えました。鶴岡出身の方、鶴岡を応援する方、鶴岡や庄内地方に疎開した方等で構成され、現在の会員数は約400人。年1回の総会を始め、首都圏での鶴岡関連イベントへの参加、ふるさと訪問バスツアーの実施など、会員相互の交流を図りながら、鶴岡に積極的に関わっていく活動をしています。



「江戸川区民まつり」の様子

友好都市・江戸川区で行われる最大のイベント「江戸川区民まつり」では、鶴岡の特産品販売を応援します。鶴岡の天神祭と同じように、化けもの姿になって振る舞い酒をしますが、その由来に質問が来たり、「毎年楽しみにしている」「この酒はうまい」と言われたりすると、鶴岡のPRに少しでも役に立てたような気持ちになり、やりがいがありますね。

最近うれしく思うことは、鶴岡のニュースが首都圏で随分流れるようになったことです。特に加茂水族館、慶大先端生命研、出羽三山や食のすばらしさなどはよく耳にします。私はやまがた特命観光・つや姫大使も務めていますが、何かあるごとに話題にして、多くの人に鶴岡のことを伝えたいですね。

私は1年に4・5回、多いときは10回ぐらい鶴岡に帰ります。町並みは変化しながらも昔の雰囲気も保たれているし、会う人も私がいつも鶴岡にいるかのように温かく接してくれます。このことは、ふるさとを守ってくれている多くの皆さんのおかげであり、本当に有り難いことだと思っています。

気象庁仙台管区気象台等の『東北地方の気候の変化』（平成23年発行）によると、山形県内のアメダスの31年間の統計から、1時間降水量30mm以上の短時間強雨が増加していることが判明しました。本市では昨年7月18日に1時間降水量が64・5mmと観測史上最大値を記録し、7月上旬から断続的に雨が降っていたこともあり、道路冠水や床上浸水が起きました。ゲリラ豪雨は、短時間で局地的に発生する現象で、予測が困難といわれています。日頃の備えや対処法などを確認しましょう。

A 注意深く様子を見守り正確な情報を入手しましょう

近年、短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨・ゲリラ豪雨が増えていくという話を聞きます。ゲリラ豪雨のとき、どのようなことに注意すればよいですか。

Q ゲリラ豪雨が発生したら

声
voice

市への意見や質問、広報を読んでの感想などをお寄せください。
◎送り先 本所総務課
☎25-2111内線316

スクールライフ!

鶴岡市にある10校の高等学校と高等専門学校。
その学校ならではの取り組みや活動を生徒・学生が紹介します。

No. 2 環境保全に関する取り組み／羽黒高校

【学校概要】 ○創立…昭和37年（工業高校として）
○学科…特進・国際・普通科、総合情報・機械システム・自動車システム学科 ○「産学一体」の建学の精神の下、生徒は伸び伸びと学校生活を送る。2004年にISO14001を認証取得し、学校全体で環境保全活動・環境教育に取り組んでいる



■「ISO14001」とは

国際標準化機構（ISO）が定める環境管理の国際規格で、企業等の組織が環境負荷を減らす仕組みを持っているかどうかを評価し、認証する制度。



生徒全員で
取り組んでいます
ごみの分別、
エコキャップ運動

■紹介者 [写真右から]

生徒会長/田中聖人さん（特進科3年生）
生徒会副会長/佐藤誠仁さん（普通科3年生）

学校で出たごみの量を減らすために、生徒全員で取り組んでいるのが「ごみの分別」です。毎日の清掃で集められる、種類ごとに分別されたごみ袋。その中に違う種類のごみが混じっていないか、分別の当番がチェックし、徹底して分別しています。

もう一つの取り組みが「エコキャップ運動」。校

内各所に設置しているペットボトルキャップ回収箱に入れられたキャップを、生徒会・生活委員会が集めて洗い、シールを剥がして保管する等、回収活動を行っています。これは、キャップのリサイクルだけでなく、世界の子供たちにワクチンを届ける活動にもつながり、とても良い取り組みだと思います。

どちらも一手間を掛けなければいけません。環境を守るために生徒全員が「当たり前のこと」として取り組んでいますし、今後も続けていきたいですね。



ごみの分別



エコキャップ運動



クラスの仲間と取り組んでいます
池の水質改善に関する研究

■紹介者 枝松賢美さん（自動車システム学科3年生）

ふと目についた校庭の池。見ると、水は緑色に濁り汚れていました。学校の憩いの場である池の水をきれいになりたい。これが研究に取り組むきっかけです。

この研究の当面の目標は、池の水を使って水耕栽

培ができるほどに水質を改善すること。今後は、池の中に水草を入れたり、長い時間水の中に均等に残留「マイクロバブル」という微細な泡を発生する装置を使ったりして、鶴岡高専の協力を得ながら水質を改善していく予定です。

研究が成功するように、仲間とアイデアを出し合って取り組んでいきたいです。



研究対象の池

本部

〈本所防災安全課・土木課、消防

道事務所〉

▽道路情報：「国土交通省山形河

川国道事務所」、「同省酒田河川

道事務所」

気象台」

▽豪雨情報：「山形県河川・砂防

情報システム」、「気象庁山形地方

気象台」

次のホームページで関連の情報を

入手することができます。

▽雨がやまないときは

洪水や土砂災害への注意と警戒

が必要です。テレビやラジオなど

で発表される情報に注意しましよ

う。

▼雨がやまないときは

洪水や土砂災害への注意と警戒

が必要です。テレビやラジオなど

で発表される情報に注意しましよ

う。

▼車に乗っているときは

国道等をくぐるアンダーパスは

冠水する可能性があります。赤色

の回転灯が点灯している場合は進

入しないようにしましょう。

アンダーパスの設置場所は市HP

「土木課」をご覧ください。

▼外にいるときは

ゲリラ豪雨で道路冠水が起きる

と側溝が見えにくくなり、転落す

るおそれがあります。また、マン

ホールから水が噴出することもあり

ますので注意しましょう。

▼日頃の備え

災害時に備え、非常持ち出し品

の準備や「鶴岡市洪水ハザード

マップ」で浸水想定区域や避難場

所、避難経路を確認しましょう。